

## (2) 出土品

### ① 埴輪

円筒埴輪（78本発見）と数点の形象埴輪です。円筒埴輪は古墳周囲に配置され、鳥形埴輪は水鳥・鶏の形を模したもので、稚拙ながら松本平に埴輪の制作が伝来したことを示す貴重な資料です。

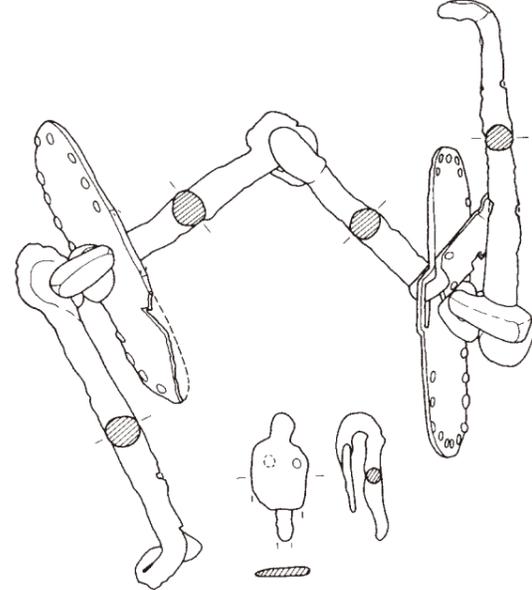


鳥形埴輪（平田里古墳出土）

### ② 馬具と鉄器（図3）

鉄製の楕円形鏡板付轡だんけいきょうばんつきつわとよばれる装飾性のある馬具のほか、鉸かこ具という留め具や鉄鎌も出土しました。馬具も鉄製品も被葬者の武威を示す先進的な副葬品です。

図3 平田里古墳出土轡・鉸具実測図（報告書P162）



### ③ 酒器で「子持ハソウ」とよばれる珍しい須恵器も出土し、他地域との交流が想定されます。

## (3) 「水の郷」松南

平田里古墳の周囲からは、古墳時代後期（6～7世紀）の住居址 110 戸余りが確認され、松本平でも稀有な大集落でした。この地は奈良井川・田川などの影響を受けた複合扇状地の扇端、地下水位の高い「水の郷」だったのです。そうした基盤を背景に農耕や祭祀が営まれ、松南地区の領域は繁栄したものとされます。

出川南遺跡は中世まで営みが続いたことが発掘

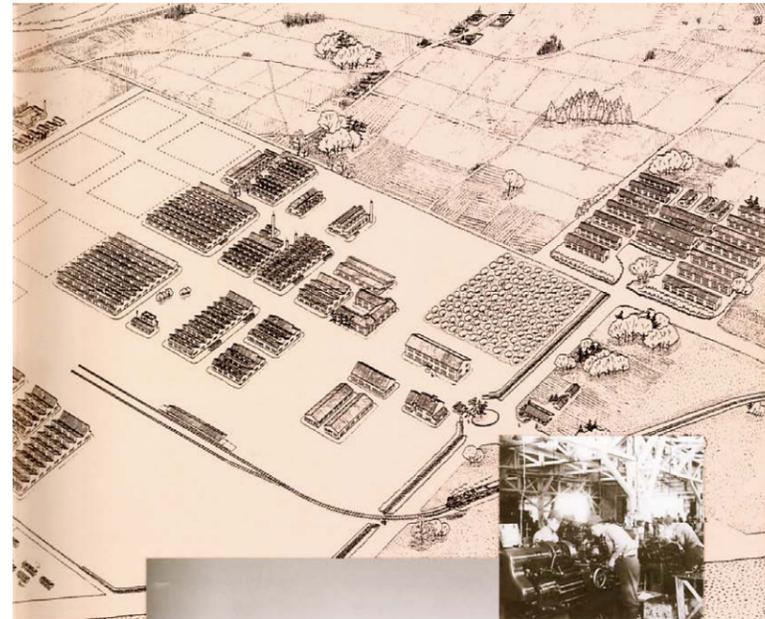
調査の成果によって判明しています。特に弥生時代から古墳時代にかけて松南地区が栄えていたと想定されており、私たちもそのことを学び伝えていきたいものです。

（松南地区地域学習会）

## 松南地区町会連合会60周年記念

# 知っておきたい 松南地区の歴史

松本市松南地区町会連合会



松本工場鳥瞰図・工場風景（昭和19年頃）



監修：博物館分館 松本市立考古博物館及び文化財課 埋蔵文化財担当  
工場鳥瞰図：『石川島芝浦機械五十年史』（現 IHI アグリテック松本工場）より  
考古学資料：平田里古墳出土品  
イラスト：「水の郷」をイメージした信濃むつみ高校生「さんと」さんの作品

## 歴史のない町？

古老は、「南松本駅からは自衛隊が見え、他は何もなかった」と語ります。松南地区は、戦後、はたして「白紙の地」に生まれたのでしょうか。

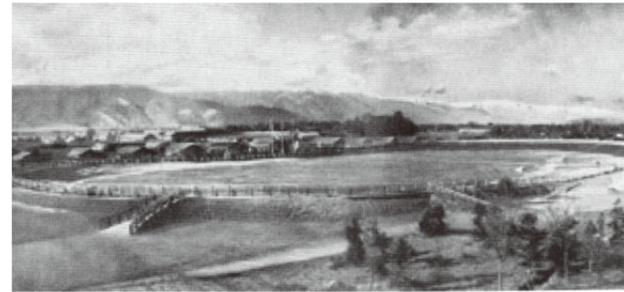
図1は戦後間もない昭和22年の地図です。桑畑や草が広がる松本南部には、昭和17～19年、「日本ステンレス」・「石川島芝浦タービン」・「宮田製作所」が操業し、南松本駅は従業員と資材を運ぶ駅として開設されました。図には工場引込線も見られ、双葉町大通りはその一部でした。アジア太平洋戦争末期、松本は「軍都」でした。昭和19年、名古屋空襲と東南海地震のため「三菱重工」をはじめ、軍需工場が「分散疎開」してきました。中山・里山辺地区の地下・半地下工場や笹賀地区の「松本飛行場」は知られていますが、松本南部の疎開工場も同様な役割を担ったものと想定さ



東洋食品（現ゴールドパック）（株）開業（昭和35年）以前の風景（『ゴールドパック30年の歩み』より）

れています。住民に秘匿（軍事機密）だったのは、むしろです。

昭和20年の敗戦を機に、「石川島」には警察予備隊（後の自衛隊）松本駐屯地が創設され、「日本ステンレス」は毎日新聞製紙工場の「松本製紙」に、また「宮田製作所」も自転車製造など本来業務に転じました。さらに「協同乳業」（現東京インテリアの地）・「東洋食品」（現ゴールドバック）など農業関連の有力企業が進出しました。昭和38年には国道19号バイパスが開通し、「線（鉄道）から道（車）」への移行が進み、やがて松本南部の拠点地域として「新産業都市」の一翼を担う利便性の高い地区に移行したのです。その発展に沿って60年余り、今日の松南地区になりました。



宮田製作所跡地にできた松本競輪場。その跡地に昭和45年開明小学校が開校（松本市提供）

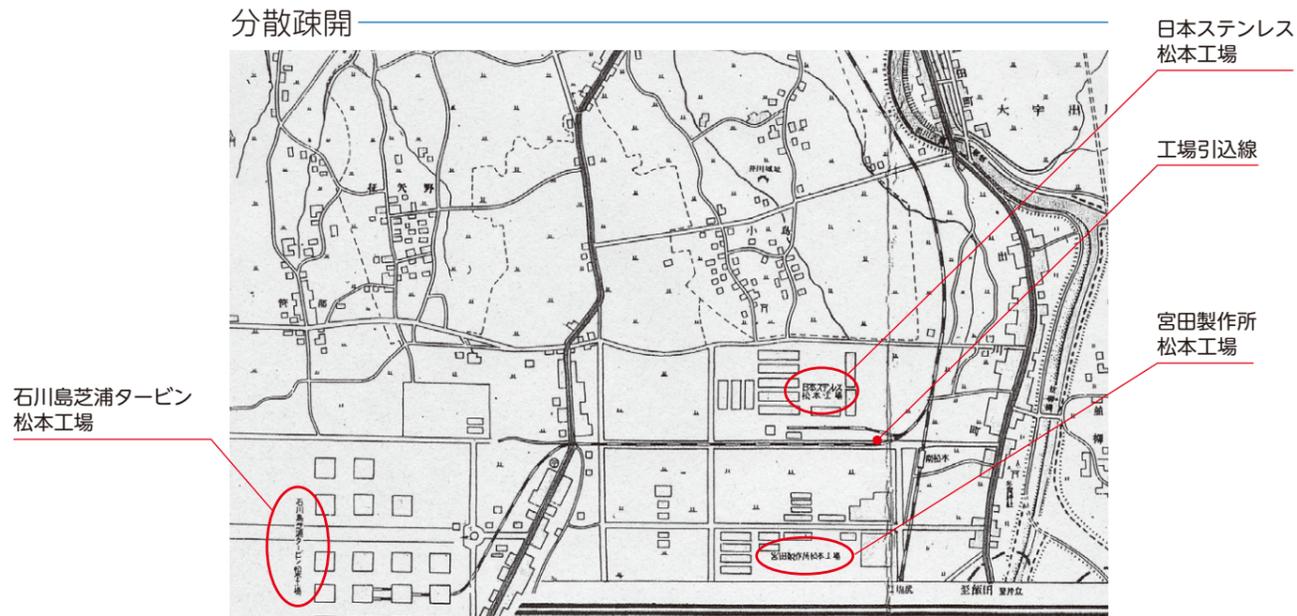


図1 松本市南部の拡大図（小松芳郎『松本市100年地図帖』2007年より）

## ひつたり 平田里古墳に注目！

左記の「開発」ともない、松本市でも屈指、40回を超える発掘調査が行われました。その結果、松南地区は出川西・出川南・平田北遺跡が見いだされ、縄文・弥生時代から古代まで5000年を超える足跡が確認されています。

とりわけ注目されるのは、古墳時代です。3世紀末に築造された東日本でも最古級とされる弘法山古墳。この地の有力支配者の存在を示す前方後方墳ですが、



平田里古墳・出川南遺跡出土品（松本市立考古博物館）

古墳で発見された同類系の土器が出川西遺跡の一部（現東京インテリア）から出土しています。被葬者がこの地を足がかりとした可能性がうかがえます。

また、平成3年度に現イオン南松本店の開設にあたり広範囲の発掘で豊富な遺構・遺物が確認されたのが、出川南遺跡です。中でも平田里古墳群のうち残存状態が良かった1号墳では、次の点が確認されました。

### (1) 形状 \*図2参照

円墳墳丘の直径は約28m、周溝とよばれるほりを含めると径約38m、築造年代は出土品などから5世紀後半と推定されます。

図2 出川南遺跡遺構図  
\*右上の墳丘が平田里古墳  
（『出川南遺跡Ⅳ 平田里古墳報告書』1994年より）

